

地球の医者を目指して 「地方再生によるエコ立国日本の実現」

公益財団法人松下政経塾 33期生

しおねひでまさ
塩根嗣理

「田舎には生きていく上で必要なものがすべてある」という塩根さん(37)。



松下政経塾への入塾

「この国はどぎゃんかせんといかん」
3・11の東日本大震災以降、そういう強い思いが抑えきれない自分がいました。
日本全国で疲弊する地方を目の当たりにし、地球の医者を目指した民間の技術者として、その取り組みの中で感じた社会の数々の矛盾。その疑問と憤りの積み重ね、特に東日本大震災の後の政治への怒りが引き金となり、魚釣りや食歩きばかりしていた私を、松下政経塾入塾へと突き動かしました。

私は、熊本県南部の芦北町という、甘夏やデコポン、白い帆を風に膨らませて海を優雅に舞いながら漁を行う「うたせ

船」などで知られる、自然豊かな地で生まれ育ちました。多くの地方同様、疲弊しているまちの一つに挙げられるでしょう。また、水俣病にも大きな影響を受け、何故、人はこうも対立して争わなければならないのか、何故、こんなにも自然の恩恵が豊かな地域で、公害や環境破壊を引き起こすのかということを考えていました。

私は人と人、人と自然との調和ある営みを実現しようと、環境コンサルタントという職に就き、日本各地で約10年、特に沖縄では7年ほど、自然再生や環境アセスメント、環境教育、生態系保全の技術開発などを行ってきました。その中で、冒頭のように、あふれる思いがあり、もっと広い視野で、企業の枠にとらわれない活動がしたいと考え、学びと自己変革の場を松下政経塾での4年間に求めました。

これからの活動「地球の医者」を目指して
私の現在の実践活動のテーマは、「地方再生によるエコ立国日本の実現」です。持続可能な社会を考えた時、元氣な地方をつくることは日本の命題、自然環境はじめ健全な環境をつくり、維持していくのは人類・地球の命題ととらえています。それを「地球の医者」という視点から見つめ、解決を図っていきたくと考えています。

現在のカネや利便性を基軸とした価値観では、日本の地方はお荷物であり、切り捨てていく対象かもしれせん。しかし、その地方の営みの中には、自然と共にうまく生きていく、あるいは限りあるものを永遠としていく知恵と技術と、思想があります。何より、田舎には、われわれが生きていく上で欠かさない、水や食料、エネルギーの源泉が豊富にあります。私は田舎の営みの中にこそ、日本再生、さらに環境問題をはじめとする世界的な課題を解決する知恵があると考えています。

現在、一つの取り組みとして、地球の臨床医学というものを意識し、「学びの行脚」を行っています。この半年間で、日本全国、さまざまな活動をされている人を訪問し、30都道府県20離島を超え、訪問先も100カ所近くに上りました。



学びの行脚の様子—さまざまな地方の価値に気付かされる。

その中で感じたことは、各地域に今の地球の病気に対する処方箋、健康の管理方法の知恵があるものの、なかなか生かされていらない、忘れ去られようとしている現状です。その原因は地域のさまざまな「もの・こと」の価値に気付いていない、気付いた価値でも生かされていらないからだと考えます。この二つに共通して大事なことは、「価値を知り、生かすことのできる人材」をはぐくむ場づくり、「多様な価値観を持つ人が連携できる」場づくりではないでしょうか。



環境学習会の様子—自然を通じて、子どもと大人の笑顔がはじける。(写真:東村立山と水の生活博物館提供)

私は今、沖縄県東村の川を中心とし、その一つの場を創る活動を展開しています。森と海をつなぎ、自然界の物質循環の主要な役割を果たし、人間の生活にも欠

かせない川。私自身、幼少期には自然の恵みとともに、水の怖さ、大切さ、自然の変化、生命のつながりなど、実に多くのことを学びました。川に対する愛情も大きくはぐくまれました。このような幼少期の、習うのでなく大切と感じる体験こそが、今の人づくりでは重要だと考えて環境学習会を開催しています。

また、子どもたちが川遊びを楽しめるよう、地域の人により自然の恵みを得られるよう、川の生き物たちもより快適に生息できるように、水の生き物の家づくりなども行っています。



テナガエビとオオウナギと子どもをつなぐ、うなぎ塚づくり—一つ一つの石を積み重ねてつくるウナギのマンション。

「Think globally, Act locally」——小さな一歩かもしれませんが、一つ一つの地域での活動を積み重ねていきたいと思います。次の機会には、具体的な取り組みの進捗についてもお知らせできるように、精進してまいります。

この文をお読みになつて、ちよつとでも気になる部分があつた方、各地域における知恵を私に授けてくださる方がいらつしゃれば、ぜひご連絡、ご指導いただければ幸いです。各地域、皆さんの知恵を集結して、地域から世界の人類の繁栄、平和、幸福の道を築いていきましょう！
連絡先・(住所) 〒253-0033 神奈川県茅ヶ崎市汐見台5-25
(メール) shionet@mskj.or.jp